

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、平成26年3月末現在では、佐倉市の総人口175,575人に対し志津地区の人口が76,041人となっており、その割合は43.3%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。

しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあり、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

また、志津地区の公共施設では「志津コミュニティセンター」「志津図書館・分館」「西志津ふれあいセンター」「西部保健センター」「志津児童センター」「北志津児童センター」など、施設整備が推進され住民福祉の向上が図られている。

志津地区のデータ

【平成26年3月末現在】

○志津地区：面積	18.52 km ²	（佐倉市：面積	103.59 km ² ）
○ "：住基人口	76,041人	（ "：住基人口	175,575人）
○ "：人口密度	4,106人 / km ²	（ "：人口密度	1,695人 / km ² ）

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
利用件数 (件)	4,447	4,281	4,262	4,311	4,558
利用人数 (人)	57,961	54,865	57,344	56,335	56,295
開館日数 (日)	333	333	333	333	333

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	お母さんと遊ぼう 「ぼっぼちゃんのお家へいこう」	2歳児と母親 30組	月2回(金) 全18回 5/31～12/13 29組59人	親子遊びを通して、子どもの成長を見守り、子どもと親が共に成長する「育自」を体験する講座。親同士の交流を図り、地域の中で、子育てを考える。
	笑顔で子育て応援講座	子どもと保護者	怒らない子育てを考える 11/30：3人 親子で楽しい茶道体験 3/1：13組33人	子どもが健全に育つための親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。
青少年教育	子どもクッキング教室	小学生	前・後期2回計4回 6/2：22人 6/30：26人 11/4：18人 12/15：21人	地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。 6/2：手打ちカレーうどんを作ろう 6/30：いろいろギョウザを作ってみよう 11/4：サツマイモで美味しい料理をつくろう 12/15：クリスマスのかわいいケーキを作ろう
	子ども手作り工房	小学生	前・後期2回計4回 5/19：14人 7/28：13人 11/3：12人 12/22：9人	佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 5/19：真っ赤なミニトマトの栽培に挑戦 7/28：作って遊ぼう、ペットボトルカー 11/3：木工の車を作って遊ぼう 12/22：消しゴムはんこを押した年賀状
	子ども自然教室	小学生	前・後期2回計4回 5/26：6人 6/9：14人 10/13：5人 12/8：14人	自然体験学習や印旛沼等の自然環境を学び、環境意識を育む。 5/26：自然遊び（屋外を散策しよう） 6/9：里山の生き物を探そう（里山で観察） 10/13：自然と遊ぼう 落葉のパレット 12/8：月、木星、冬の輝く星々をみよう
	子ども理科実験教室	小学生	前・後期2回計4回 6/23：16人 7/7：32人 10/27：16人 11/10：9人	理科実験等、体験学習を通して子どもの研究心や想像力を育む。 6/23：水の万華鏡を作って楽しもう 7/7：科学の力でアイスクリームを作ろう 10/27：科学の力でアイスクリームを作ろうⅡ 11/10：電気自動車を作って遊ぼう
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年 夏季に高校生2人、公民館祭4人参加	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。

成人教育	しづ学入門	成人 44人	第1・3(土)全20回 開講式・記念講演 6/8 講座6/22～2/1 学習発表・閉講式 2/22	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、 自らの学び経験をとおして地域社会の活性化 に繋げる。
	地域健康学	成人 40人	第2・4(土)全20回 開講式・記念講演 6/8 講座6/15～2/8 学習発表・閉講式 2/22	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、 自らの生活を見直し、健康について学ぶこと を通じて、地域の中で連帯を図る。
	くらしの情報学	成人 45人	第2・4(木)全20回 開講式・記念講演 6/8 講座6/13～2/13 学習発表・閉講式 2/22	日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情 報を学び、安全で快適なくらしを送れる地域 づくりを図る。
	おやじの食事学	成人男性 25人	第2・4(土)全20回 開講式・記念講演 6/8 講座6/15～2/8 学習発表・閉講式 2/22	食生活の大切さや料理づくりの楽しさを体 験しながら学び、仲間づくりと地域活動への 参加を図る。
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を 学ぶ」	成人 30人	全4回 2/5:27人 2/12:26人 2/19:26人 2/26:24人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区 について知識を深め、地域の遺跡を学ぶこと で、郷土愛や歴史文化への意識を高める。
	佐倉・城下町400年 記念事業 「佐倉道を歩く」	成人 20人	全5回 10/22:18人 10/29:16人 11/5:19人 11/12:18人 11/19:19人	かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉 道」を実際に歩き、城下町佐倉や周辺地域の 歴史について理解を深める。 10/22:講義、志津公民館～臼井駅 10/29:江戸川駅～京成西船駅 11/5:京成西船駅～新京成習志野駅 11/12:新京成習志野駅～志津駅 11/19:臼井駅～佐倉城大手門跡
	佐倉学入門講座 「地産地消 佐倉コ ミュニティカフェ を学ぼう」	成人 20人	全3回 10/23:14人 10/30:15人 11/6:13人	地域の人が気軽に集まる場所であるコミュ ニティカフェ。「つどい、食べて、語る」を テーマに地域社会の再構築を考える。
	さくら学び塾 なごやかさんにな って、地域を元気に しませんか?人と 和やかに接する自 分づくり	成人 20人	全3回 11/21:13人 12/5:13人 12/19:9人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公 募による講師の企画に基づき開設する。 多様な世代が関わり合う地域社会において、 人間性豊かな生活を営むために、コミュニケ ーション能力、自己肯定感等を学習する機会 とする。

団 体 育 成	第40回志津公民館祭	公民館利用サークル 約120団体	10/18～20 3日間 計120団体参加 2,570人来場	学習成果の発表や展示を通して、地域住民の交流と学習機会提供の場とする。志津公民館、西志津ふれあいセンターを会場にサークルによる実行委員会を組織し開催。佐倉市表彰を受賞。
	調理室利用サークル懇談会	調理室利用サークル	6/17:39人	調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。併せて清掃作業を実施。
	市子連事務	志津地区加盟子ども会	通年	子ども会育成連盟をはじめ各種事業の広報と子ども会安全共催会加入事務を行う。
	志津ジュニア・リーダーズ・クラブ(志津JLC)支援	1団体	通年 共催事業・クリスマス会 11/24:117人	志津JLCが行う各種事業への援助を通じて、JLの養成を図る。子ども会等の交流を図る機会を設け、JLが活動する場とする。
	志津地区社会教育関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	相談・カウンセリング等の支援事業	該当団体	通年	相談・カウンセリング活動を行う団体に会場を提供し、住民の問題解決の場となるよう支援する。
	公民館園芸ボランティア団体への支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。佐倉市教育功労者表彰を受賞。
広 報 活 動	公民館だより「しづ」の発行	志津地区各戸配布 市内主要施設配布	5/1・10/1・1/15 各25,000部発行済	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

1. 家庭教育事業

お母さんと遊ぼう

- ① 開設趣旨 「元気で良い子に育てほしい」という願いは、どの親も共通した願いである。2歳児は、自我が目覚める年齢。子どもの目線に立って一緒に考えてあげましょう。小さなことも、できたら、十分抱きしめて、ほめてあげましょう。この講座は、子どもの成長を見守り、子と親が共に成長する「育自」を体験する母親のための講座である。

親子のふれあいを通して、幼児の自主性と豊かな心を育て、親同士の交流をはかり、地域の中で子育てを考える。

- ② 募集対象・募集人数 2歳児と母親30組

③ 学習目標

1. 幼児の自主性と豊かな心を育む。
2. 母親が「育児は育自」であることを体験し、今後の子育てに活かせるようにする。
3. 参加者の交流を深め、子育ての喜びや悩みを共有する地域の仲間づくりを図る。

④ プログラム

	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	5月31日 (金)	地域で助け合い育児 開講式・笑顔で記念写真	お母さんのひざでキャキャの笑い 声いっぱい 虫歯を予防するには	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
2	6月9日 (金)	自然体験 さつまいも大好き	畑に行ってお芋掘り！汚れてもイイね 家族と一緒にさつまいもの苗植え	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 石川 ヨシエ
3	6月14日 (金)	グループで仲良くおにぎり 持ち持って遠足に行こう	コアラのモノレールに乗ってガタゴトお散歩	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
4	6月28日 (金)	手作りおもちゃで遊ぼう	牛乳パックでおもちゃ作り グループ遊びの発表しましょ	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
5	7月5日 (金)	七夕飾りでキラキラ お星様がいっぱい	笹の葉サラサラ・七夕の飾りで夜空を飾ろう	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
6	7月12日 (金)	おやこで造形あそび	手形粘土で思い出の作品づくり	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
7	7月19日 (金)	絵本の読み聞かせ ペーパーサート	絵本の読み聞かせ・わらべうたを大切に	中島 浩子
8	9月6日 (金)	リズムで遊ぼう 子どもを守ること	親子でふれあい 親子で楽しく表現あそび	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
9	9月27日 (金)	伝承遊び、楽しいな ヨーガ・祭寿司試食会	呼吸法ヨーガでお母さんストレス 解消 体験遊びがいっぱい	大和田イエ子 (幼児教育研究家) 岡本 美鈴

10	10月4日 (金)	自然体験 さつまいもを収穫しよう	畑に行こう！「大きくなったかな」 自分で植えたさつまいもの収穫祭	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
11	10月11日 (金)	食生活改善推進と習慣 手作り野菜おやつ	幼児期の栄養とバランスを考えて 楽しい簡単野菜おやつを食べよう	食生活改善推進員
12	10月25日 (金)	遠足に行こう 秋を探そう	草ぶえの丘でペッタンペったん餅 つき体験	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
13	11月8日 (金)	野外で遊ぼう	上座総合公園でおもいきりかけ っこ	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
14	11月16日 (土)	お父さんと遊ぼう	ウルトラマンお父さんとパワフル に	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
15	11月22日 (金)	ごっこ遊びで楽しく	体験遊びがいっぱい	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
16	12月6日 (金)	クリスマス飾りと 伝承遊び	昔の遊びとグループ発表の準備	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
17	12月8日 (日)	お父さんと一緒にヨーガ	お父さんヨーガでリフレッシュ	川村 淳司 (ヨーガインストラクター)
18	12月13日 (金)	クリスマスお楽しみ会 閉講式	グループ発表と地域みんなで子育て しよう 一品持ちよりパーティー	蓮 淳子 (幼児教育研究家)

⑤ 講座を終えて

家庭教育事業として、2歳児とそのお母さんを対象に、親子遊びを通して親子のふれあいを図り、子育てに日々頑張っているお母さんの情報交換と地域の仲間づくりの場となることを目指して、本講座を実施した。

基本的に親子や参加者同士の交流を図るため、講座の前半にはリズムに合わせた手遊び、体操、わらべ歌等を取り入れた。また、受講生から話し合いの時間を多くとって欲しいとの意見があり、昨年同様、情報交換の場を拡充する目的から、親同士の交流を図るため、子育てやしつけについて、悩み等を話し合う場と班毎に発表する時間を講座の最後の時間帯に10分間設定した。

講座については、例年実施している屋外活動（さつまいもの苗植え・収穫、佐倉草ぶえの丘遠足、上座総合公園）、季節にちなんだ行事や工作（手形粘土・おもちゃ・七夕飾り・クリスマス飾り作り）と合わせて、昨年度実施して好評であったボランティアさんが作った祭り寿司の試食、お母さんとヨーガとお父さんのヨーガを継続して取り入れ実施した。

講座終了後のアンケートでは、講座を受講して満足、目的が達成されているとの回答が大半を占めており、「子どもと触れ合う方法をたくさん学べ参考になった」「家庭ではできない経験をとおして子どもと触れ合うことができ感謝している」などの感想が寄せられ、親子遊びを通じた親子のふれあいについては、概ね目的が達成できたといえる。しかしその一方で、「親同士が交流する時間が少なかった」といった感想をもつ参加者も見受けられた。時間が無く親同士が話し合う場が減少してしまったことも影響していると考えられるため、親同士が話し合う場の充実も含め、親同士が交流を深められるような工夫が必要であると感じた。

笑顔で子育て応援講座 (1)「怒らない子育てを考える」 (2)「親子で楽しい茶道体験」

- ① 開設趣旨 親子を対象に、子どもが健全に育つための、家庭教育講座。日本古来の文化を体験することにより、親子のふれあいを図り、文化を伝承する。
- ② 募集対象・募集人数 (1) 3歳以上の子どもの保護者 30人
(2) 小学生以上の子どもとその保護者15組
- ③ 学習目標 (1) 親がCSPを体験することで、子育ての悩みを解決する一助とし、子育て中の親が孤立しないために、地域で仲間づくりを図る。
(2) 親子で茶道を体験することで、親子のコミュニケーションを図り、日本古来の作法を親子で学び、体験することで文化を継承する。
- ④ 指導者 (1) 飯野 千里 (北志津保育園)
(2) 小林 由紀子 (日本文化研究家)

⑤ 講座を終えて

今年度は、初めて、「怒らない子育てを考える」を子育て支援課と共催で実施した。子どもの保育をつけたが、参加者は、3人と少なかった。2回目の「親子で楽しい茶道体験」では、志津地区小学校にチラシを配布し、実施した。

「怒らない子育てを考える」講座は、子育て支援課との連携協力した事業であり、チラシを市内の全保育園に配布したが、参加者3人となった。当日、ボランティアで託児をし、対応した。参加者の感想は、「保育園で以前、怒らない子育てについて聞いたが、忘れてしまわないように定期的に聞きたいと思い参加した」と両親で参加した。講座では、自我の発達が著しい3歳以上の子を持つ親への子育ての効果的なほめ方など、子育て悩みを解決する一助を学んだ。

また、現在、日本文化を継承することが大切なことと考え、茶道の体験講座を、親子対象で実施した。笑顔で子育て応援講座は、働く親の参加を可能とするため、土曜日に実施した。家に帰っても、作法を思い出し、親子で教え合い、家庭や地域で話題になって欲しいと願う。子どもたちの感想は、「昼の歩き方やお菓子の食べ方お辞儀の仕方等を学び楽しかった」「中学生になっても茶道したい」等で、親の感想は、「礼儀作法が全く分からない自分に気がついた」「たちふるまい、おもてなしの心、気配りを学んだ」「日本文化の大切さを学んだ」等であった。父親の参加も3人あり、熱心に講師の話聞き、引き続きサークル活動をしたいと希望が多くあり、学習意欲が感じられた。講座終了後、自主サークル「好茶会」が設立した。

来年度、子育てを応援する講座として、親子体験講座を実施し、家族団らんの場で話題となり、親子のふれあいを図るような講座を実施していきたい。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 「子どもクッキング教室」

- ① 開設趣旨 地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。
- ② 募集対象・募集人数 志津地区在住の小学生(高学年)各20人
- ③ 学習目標 1. 自分たちの手で料理を作り、料理の楽しさと大切さを実感してもらう。
2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。
3. 地元の素材を取り入れ、地域への関心を高める。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月2日(日)	手打ちカレーうどんを作ろう、おやつ付	うどんを小麦粉から作ることで、手作りの喜びを味わう	おやじの食事学同好会
2	6月30日(日)	ギョギョ、いろいろギョウザを作ってみよう	子どもの好きなギョウザをみんなで作った	おやじの食事学同好会
3	11月4日(月)	サツモイモでホクホク美味しい料理をつくろう	地元の畑で作ったサツマイモを使って、グラタン、コロッケを作った	おやじの食事学同好会
4	12月15日(日)	Xmasのかわいいケーキを作ろう	リクエストが多かったXmas焼き菓子を手作りした	おやじの食事学同好会

⑤ 講座を終えて

志津公民館の近所の石川さんの畑で作ったサツモイモでグラタンやサツマイモコロッケを作り、製作者のおばあちゃんを呼び、一緒に昼食をいただいた。子どもたちは、地元で作った食材を使っただけの料理で、地域との密着した講座となり、食への関心を高めた。

子どもたちの感想は、「手作りがとても楽しくて料理もおいしかった」「みんなで協力して作り、良かった」「地域の先生方は、わかりやすく教えてくださり、ありがとうございました」「公民館で作った料理は、家で作ってみたいと思います」「他の学校の子とも交流ができて楽しかった」等。手作り料理を他の学校の子ともたちでみんなで協力し、食べることが楽しいと感じ、新しい友達ができて良かったとの感想が多く、積極性がみられた。

また、子どもたちは、小学校の通学路において、ボランティアで交通安全の旗振りをしている地域のおやじの食事学の方にとっても感謝している感想があり、世代間交流が図れた。

佐倉っ子塾 「子ども手づくり工房」

- ① 開設趣旨 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。
- ② 募集対象・募集人数 志津地区在住の小学生各20人
- ③ 学習目標 1. 手工芸を通じて子どもたちの「創意工夫」の心を養う。
2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	5月19日(日)	真っ赤なミニトマトの栽培に挑戦しよう	ミニトマトの鉢植えを作り、育て方を学習し自宅で育てる	スケッチブック
2	7月28日(日)	作って遊ぼう、ペットボトルカー	身近にあるペットボトルのリサイクルを利用して、車を作り、走らせて遊ぶ	佐倉っ子工芸クラブ
3	11月3日(日)	木工の車を作って遊ぼう	木材を好きな形に加工・組み合わせ合わせて車を作り走らせて遊ぶ	佐倉っ子工芸クラブ
4	12月22日(日)	消しゴムはんこを押した年賀状を作ろう	自分の選んだイラストを基に年賀状用のはんこを作成する。	佐倉木版画の会

⑤ 講座を終えて

子どもたちに身近な地域の人たちとのふれあいを通して、手工芸に触れ、手づくりの良さを知り、作る楽しさを体験してもらうため、地域の人から学ぶ体験学習講座として、志津公民館で定期的に活動しているスケッチブック、佐倉っ子工芸クラブ、佐倉木版画の会を講師として迎え、年間を通して4回開催した。

テーマ「真っ赤なミニトマトの栽培に挑戦しよう」の講座参加のきっかけは、「トマトはどうすればうまく育つのか知りたかった」等で、「土や肥料入れ、トマトの苗植えが楽しかった」との感想が多かった。テーマ「作って遊ぼう、ペットボトルカー」参加者の感想は、「車作り、車の飾り付け等、難しかったが色々な工夫ができて楽しかった」等で、子どもたちは飾り付け等それぞれに工夫してペットボトルカーを完成させた。テーマ「木工の車を作って遊ぼう」では、好きな形の木材を講師に依頼して加工してもらい、加工した木材を組み合わせてオリジナルの車を作成した。「木をつなげること、色ぬり、飾りつけ等、自分で工夫して作ることが楽しかった」といった感想で、子どもたちの発想力の豊かさに講師も驚いていた。テーマ「消しゴムはんこを押した年賀状を作ろう」の講座参加のきっかけは、「友達に年賀状を送る際に、自分だけのハンコを作り見てもらいたいから」等で、子どもたちは、彫刻刀やカッターといった刃物の使い方や、使用の際の注意事項を学習することができた。また、年賀状用のハンコを手作りすることにより、慣習・義務として出していた年賀状を見直すきっかけとなった。初めてハンコを作った子どもたちも多かったが、短時間で作品を作り上げた子どもたちの対応力の高さに講師も関心していた。

来年度以降も、子どもたちに手づくりすることの楽しさを体験してもらい、地域の人たちや学年や学校を超えての交流を推進していきたい。

佐倉っ子塾 「子ども自然教室」

① 開設趣旨 地域の自然にふれ、子どもたちに自然を舞台に新しい発見を体験する機会を提供し、自然の中で遊ぶことの素晴らしさ、楽しさを実感することで青少年の健全性を育む。

② 募集対象・募集人数 志津地区在住の小学生各20人

③ 学習目標 1. 地域の自然とふれあうことで、子どもたちの自然への関心を高める。
2. 外で遊ぶことの楽しさを実感してもらい、青少年の健全育成を図る。
3. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	5月26日(日)	自然遊び(屋外を散策しよう)	林の中や畦道を散策し、自然の中での遊びを体験	しづのまち歩こう会
2	6月9日(日)	里山の生き物を探そう	里山に生息する生物や、草花の観察を体験	日本野鳥の会
3	10月13日(日)	自然と遊ぼう 落ち葉のパレット	落ち葉やどんぐりを使い自然の中での遊びを体験	志津JLC
4	12月8日(土)	月、木星、冬の輝く星々をみよう!	天体望遠鏡での、星座観察を体験	染井野星の会

⑤ 講座を終えて

「自然遊び(屋外を散策しよう)」では、志津地区の林の中、畦道を散策した。起伏に富んだ地形の中を散策することで、色とりどりの自然を体験し、辻切り等の地域の伝統文化にもふれることができた。「里山の生き物を探そう」では、身近なところにある里山を散策し、生物、草花を直接手に取って観察した。子供達は、身近な所に多くの自然が残っていること、そしてその自然の中に多くの生物や草花が生息していることを体験し、自然の素晴らしさを実感した。「自然と遊ぼう 落ち葉のパレット」では、落ち葉やどんぐり等の自然の素材を使い、遊ぶことを体験した。「月、木星、冬の輝く星々をみよう!」は、天体望遠鏡で月等秋の星座を観察した。当日はあいにくの曇り空となってしまったが、講師の方による屋外での天体観測は、自然科学に対して、子ども達に新たな興味と関心を高めることができた。

自然教室は、里山や林の中等の屋外での開催であるため、子ども達は、元気よく動き回っている。講師の方々には、子どもの安全面に関して十分にご配慮をさせていただいており、無事に開催することができた。今後も志津地区にある自然を紹介し、自然と触れ合える機会を提供していきたい。そして、自然の中で遊ぶことの少なくなった子供達に自然の中で遊ぶことの楽しさ、自然の大切さを伝えていきたい。

佐倉っ子塾 「子ども理科実験教室」

- ① 開設趣旨 身近な素材を活かし地域住民の協力を得ながら、子どもたちに「ふしぎな世界」への挑戦と発見を体験する機会を提供し、科学・理科の楽しさを伝え「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、青少年の自主性と健全育成を図る。
- ② 募集対象・募集人数 志津地区在住の小学生各20人
- ③ 学習目標 1. 身近な素材を活かし、子ども達に「不思議な世界」への挑戦を体験してもらう。
2. 科学・理科の楽しさを伝え「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、自主性と健全育成を図る。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月23日(日)	水の万華鏡を作って楽しもう	光のふしぎ(屈折・色・エネルギーなど)を学び、万華鏡を作ってふしぎを体験	自然科学の会
2	7月7日(日)	科学の力でアイスクリームを作ろう	熱が奪われて温度が下がる現象を学び、アイスクリーム作りで体験	西志津おやじの会

3	10月27日(日)	科学の力でアイスクリームを作ろうパートⅡ	熱が奪われて温度が下がる現象を学び、アイスクリーム作りで体験	西志津おやじの会
4	11月10日(日)	電気自動車を作って遊ぼう	くだもの電池を作って実験・模型自動車を作って走らせて遊び体験	自然科学の会

⑤ 講座を終えて

この講座は『佐倉っ子塾』講座の一つとして、今年度は小学生を対象に理科系の体験学習の場を提供した。「水の万華鏡を作って楽しもう」では、光の反射について学び、自分だけのオリジナル万華鏡を作り、作ることの楽しさを実感できた。「科学の力でアイスクリームを作ろう」では、熱が奪われて温度が下がる現象を学び、氷に塩を加えて作ったアイスクリームと塩を加えないで作ったアイスクリームを比較して実験した。「電気自動車を作って遊ぼう」では、くだものを使って発電して不思議を体験し、模型自動車を製作し電気のメカニズムを学んだ。全体的には、ふしぎな世界を感じながら探究心や想像力・発想力などを培い、新しい仲間と「ふしぎなこと」について話し合いをする中で地域の友だちを増やすことができた。講座後の感想は「楽しかった」「今度は家でやってみたい」などであった。

なお、実験教室の指導に協力していただいた志津公民館定期利用サークルである「自然科学の会」と「西志津おやじの会」の皆様による万全を期した準備と熱意により、不思議で楽しい体験となり、大変充実した講座が展開された。今後においては、子どもたちの生活の中にある身近な「ふしぎ」についてをテーマとして、実験・体験などを継続的に展開して「わかる喜び」や「できる自信」を実感していただきたい。

佐倉っ子塾 「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習

- ① 開設趣旨 中学生・高校生を対象に志津公民館でちょこっとボランティアをする職場体験学習講座
- ② 募集対象・募集人数 市内在学在住 中学生・高校生
- ③ 学習目標 青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを目的とする。
- ④ プログラム等

「公民館職場体験」公民館でお仕事

「公民館事業企画」公民館の主催事業の企画

「公民館主催事業お助け隊」公民館の主催事業のチラシ作成や主催事業の受付など

回	月日(曜日)	学習内容	会場	参加者数
1	7月19日(金) ～ 8月31日(土)	志津子ども教室小学生のための主催事業受付等 小学生と交流	志津公民館大集会室・事務室	高校生2人
2	10月18日(金) 10月19日(土)	志津公民館祭	志津公民館	高校生4人

⑤ 講座を終えて

本講座、中学生・高校生のための職場体験講座「ちょこボラ」の企画は、志津公民館で毎年度、学校からの依頼により、井野小学校6年生と志津中学校2年生の職場体験を実施しているが、中学生や高校生に職場体験の講座を拡大し、平成24年度から実施した。

背景に都市化や少子化等の進展に伴って、子どもたちの社会性の不足、規範意識の低下、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下などが指摘されているが、中学生や高校生のための社会体験講座としての事業実施となった。今年度、学校教育連携事業として実施し、7月に千葉県立佐倉西高等学校へ配布依頼したチラシを見て、高校生2人が志津公民館へ電話で「ちょこボラ」に応募いただき、主に夏休み中の体験活動となった。

また、志津子ども教室で小学生のための主催事業受付等のボランティアの体験も実施した。更に10月の志津公民館祭では、公民館で活動しているサークルの舞台発表や学習内容の展示が行われており、高校生4人の参加があり、主にジュニアリーダーズクラブと手作りうどん等の販売のボランティアをして、サークルの人との交流・地域の人とのふれあいを体験した。

参加した高校生の感想は、「受付業務を早く覚えられるよう頑張ります」「サークルのおじさんが生き生きと活動して、元気です。」「図書整理やポスター作りが楽しい」「小学生と接し、意外な発想をするのでこちらが明るくなります」「貴重な体験が高齢者の方とお話する機会があり、いろいろ学べて楽しかった」「時間があるときにまた、来たいと思います」奉仕活動に参加できたのがとても光栄です」「2日の活動がとても良い経験になりました」等であった。夏休み中の活動と志津公民館祭の体験を合わせると、のべ23日間（72時間）と長期の体験学習事業となった。

今後、志津地区中学校へのチラシを配布したが、中学生の参加は、無かった。

3. 成人教育事業

しづ市民大学 (第24期)

① 開設趣旨

志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。

そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

(1) 自主的な学習活動の促進

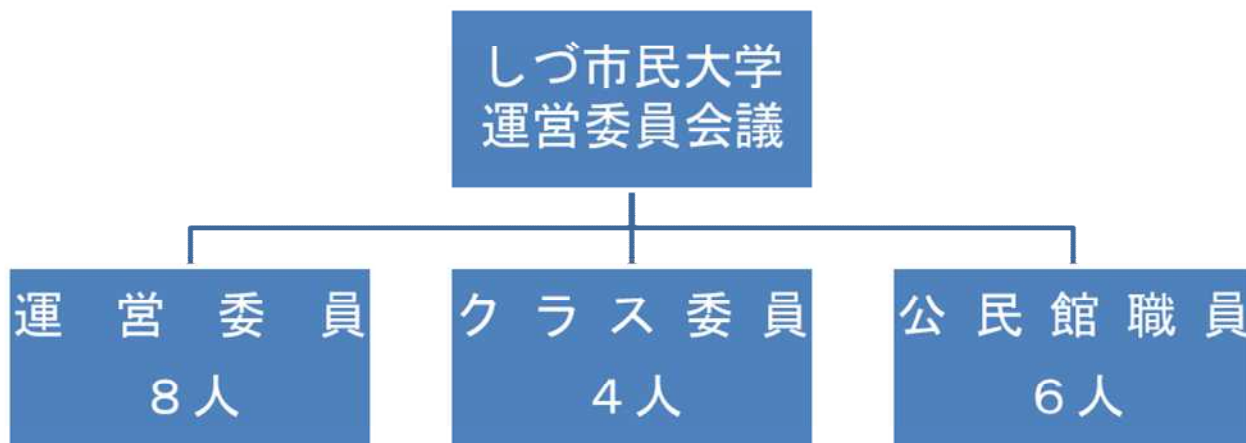
(個人的な参加型の学習から地域への展開)

(2) 生涯学習を進めるまちづくり

(地域社会の活性化)

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【しづ市民大学運営関係図】



② 募集対象、募集人員

・しづ学入門	成人	44人
・地域健康学	成人	40人
・くらしの情報学	成人	45人
・おやじの食事学	成人男性	25人

③ 学習目標

- ・ **しづ学入門** 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。
- ・ **地域健康学** 地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学を通じて地域の連帯を図り、この成果を生かした「まちづくり」に貢献することをめざす。
- ・ **くらしの情報学** 日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学習する。溢れる情報の中から有用なものを選択し、得た情報を個人あるいは仲間たちと共に活用することにより、安全で快適な生活の在り方を模索する。
- ・ **おやじの食事学** 男性を対象とした講座で、食の大切さや楽しさを体験しながら、食事作りの基礎を学び、地域の中で仲間づくりをめざし、地域で活動するきっかけをつくる。

④ プログラム

しづ市民大学「しづ学入門」コース

回	月日(曜日)	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	6月8日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「認知症ゼロをめざして 正しい知識と対応」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	順天堂大学大学院 認知症診断・予防・治療学講座 本井 ゆみ子
2	6月22日(土) 9:30~15:00	公民館が目指す地域学 【志津公民館 大集会室】	佐倉市社会教育指導員 内田 儀久
3	6月29日(土) 9:30~14:00	城下町佐倉の歴史散策 【佐倉地区 史跡散策】	NPO「佐倉一里塚」 ガイドボランティア
4	7月6日(土) 9:30~12:00	佐倉連隊とその時代 【志津公民館 大集会室】	NPO「佐倉一里塚」 代表 山倉 洋和
5	7月20日(土) 9:30~12:00	歴史民俗博物館で学ぶ 【国立歴史民俗博物館 見学】	歴博セミナーの会 永見 一
6	8月3日(土) 9:30~12:00	佐倉道を学ぶ 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 村田 一男
7	8月24日(土) 10:00~12:00	合同講演会 佐倉・400年記念リレー講座 「時代小説に描かれた佐倉～野村胡堂・町人十萬石～」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	作 家 高比良 直美
8	8月31日(土) 9:30~12:00	志津地域の史跡と名所 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 宮武 孝吉
9	9月7日(土) 9:30~12:30	志津の歴史散策 ① = 史跡・古道散策など = 【志津地区 史跡散策】	郷土史研究家 宮武 孝吉
10	9月21日(土) 13:30~15:40	男女共同参画合同講演会 今でしょ！地域で子育て応援隊 【志津コミュニティセンター大ホール】	NPO 法人ファザーリング・ジャパン 理事 村上 誠
11	10月5日(土) 9:30~12:00	井野長割遺跡を学ぶ 【志津公民館 大集会室】	佐倉市教育委員会 文化課担当職員
12	10月12日(土) 9:30~12:00	志津地域の歴史 【志津公民館 大集会室】	NPO「佐倉一里塚」 代表 山倉 洋和
13	10月19日(土) 9:30~13:30	第40回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
14	11月2日(土) 9:30~12:30	志津の歴史散策 ② = 史跡・古道散策など = 【志津地区 史跡散策】	郷土史研究家 高橋 三千男
15	11月16日(土) 9:30~12:00	印旛沼の変遷 = 湖沼の生態系 = 【志津公民館 大集会室】	内水面水産研究所 主任上席研究員 平田 淳一
16	12月7日(土) 9:30~12:00	印旛沼と野鳥と里山 【志津公民館 大集会室】	日本野鳥の会 会員 浅野 俊雄
17	12月21日(土) 9:30~12:00	佐倉ゆかりの小説と映画の楽しみ方 【志津公民館 大集会室】	佐倉市社会教育指導員 内田 儀久
18	1月18日(土) 9:30~12:00	民俗行事を学ぶ = 井野の辻切りなど = 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 高橋 三千男 志津郷土歴史同好会 高山守
19	2月1日(土) 13:30~16:00	発表会に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
20	2月22日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「地域健康学」 コース

回	月日(曜日)	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	6月8日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「認知症ゼロをめざして 正しい知識と対応」 【志津コミュニティセンター 大ホール】		順天堂大学大学院 認知症診断・予防・治療学講座 本井 ゆみ子
2	6月15日(土) 9:30~15:00	お元気ですか?地域から健康笑顔を発信 口腔衛生 【志津公民館 大集会室】		佐倉市保健師・歯科衛生士
3	6月22日(土) 9:30~12:00	軽スポーツでリフレッシュ 【志津コミュニティセンター 大ホール】		体育指導委員 六崎 美知代
4	7月13日(土) 9:30~15:00	栄養学から健康愛情料理~我が家の食事情の検証 【志津公民館 大集会室】		栄養士 小林 由喜子
5	7月20日(土) 9:30~13:00	地元食材・季節の手作り料理-実習編- 【志津公民館 調理室】		栄養士 小林 由喜子
6	7月27日(土) 9:30~12:00	放射線からみた骨粗鬆症・腰痛体操 【志津公民館 大集会室】		セントマーガレット病院 放射線科技師 本郷 公一 リハビリテーション科理学療法士 花澤 里務
7	8月24日(土) 10:00~12:00	合同講演会 佐倉・400年記念リレー講座 「時代小説に描かれた佐倉~野村胡堂・町人十萬石~ 【志津コミュニティセンター 大ホール】		作家 高比良 直美
8	9月14日(土) 9:30~15:00	健康太極拳で柔軟性を高め、筋肉を鍛える 【志津公民館 大集会室】		日本武術太極拳連盟公認 指導員 中城 明
9	9月21日(土) 13:30~15:40	男女共同参画合同講演会 今でしょ!地域で子育て応援隊 【志津コミュニティセンター 大ホール】		NPO 法人ファザーリング・ジャパン 理事 村上 誠
10	9月28日(土) 9:30~12:00	脳科学・脳のしくみと働き 【志津公民館 大集会室】		千葉大学医学部大学院 脳神経外科助教授 樋口 佳則
11	10月19日(土) 9:30~13:30	第40回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)		クラス委員・運営委員
12	10月26日(土) 9:30~12:00	森林浴で健康骨太に~安全に楽しく歩いて~ 【志津公民館 大集会室】		ボーイスカウト連盟公認 指導員 本部 三枝子
13	11月9日(土) 9:30~12:30	生活習慣病とウォーキング~元気に歩いて~ 【志津公民館 大集会室】		NPO 千葉県ウォーキング協会
14	11月23日(土) 9:30~12:00	笑いっぱい タオル健康体操 【志津公民館 大集会室】		健康をつくろう会 会長 廣吉 勝子
15	11月30日(土) 9:30~12:00	家庭の薬学と地域介護~薬と食べ物の関係~ 【志津公民館 大集会室】		佐倉市薬剤師会 会長 伊藤 克洋
16	12月14日(土) 9:30~12:00	子どもたちの未来を考えて 【志津公民館 大集会室】		佐倉こどもかるた子都手留会 さくらっ古
17	1月11日(土) 9:30~12:00	呼吸法ヨガで自分を見つめ、自己管理 【志津公民館 大集会室】		フリーダイバー 日本一 岡本 美鈴
18	1月25日(土) 9:30~12:00	地域サークルとボランティア 【志津公民館 大集会室】		手話ダンスロード
19	2月8日(土) 9:30~12:00	発表会に向けて 【志津公民館 大集会室】		クラス委員・運営委員
20	2月22日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】		クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「くらしの情報学」 コース

回	月日(曜日)	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	6月 8日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「認知症ゼロをめざして 正しい知識と対応」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	順天堂大学大学院 認知症診断・予防・治療学講座 本井 ゆみ子
2	6月13日(木) 9:30~12:00	佐倉市の商業活性化について 【志津公民館 大集会室】	佐倉商工会議所 事務局長 高橋 義和
3	6月27日(木) 8:30~17:00	社会見学会(バス見学会) 【県環境研究センター・東京ガス袖ヶ浦工場】	クラス委員・運営委員
4	7月11日(木) 9:30~12:00	ニュースの読み方 【志津公民館 大集会室】	元毎日新聞社論説委員長 清水 幹夫
5	7月25日(木) 9:30~12:00	エコライフを送ろう 【志津公民館 大集会室】	(財)電力中央研究所理事待遇 工学博士 中岡 章
6	8月24日(土) 10:00~12:00	合同講演会 佐倉・400年記念リレー講座 「時代小説に描かれた佐倉」～野村胡堂・町人十萬石～ 【志津コミュニティセンター 大ホール】	作 家 高比良 直美
7	8月29日(木) 9:30~12:00	佐倉市企業の取組み～佐倉茶物語～ 【志津公民館 大集会室】	(株)小川園 代表取締役社長 小川 勝寛
8	9月12日(木) 9:30~12:00	地域の活動に参加しよう 【志津公民館 大集会室】	佐倉市社会福祉協議会ボランティアセンター 主任福祉活動専門員 山岡 恵子
9	9月21日(土) 13:30~15:40	男女共同参画合同講演会 今でしょ!地域で子育て応援隊 【志津コミュニティセンター 大ホール】	NPO 法人ファザーリング・ジャパン 理事 村上 誠
10	9月26日(木) 9:30~12:00	悪質商法撃退法 【志津公民館 大集会室】	佐倉市消費生活センター 消費生活専門相談員 丸 裕実
11	10月10日(木) 9:30~12:00	話し合い学習 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
12	10月19日(土) 9:30~13:30	第40回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
13	10月24日(木) 9:30~12:00	高齢者と人権 【志津公民館 大集会室】	(社)千葉県人権センター 常務理事 鎌田 行平
14	11月14日(木) 9:30~12:00	認知症サポーターになろう! 【志津公民館 大集会室】	志津南部地域包括支援センター 社会福祉士 中村 光太郎
15	11月28日(木) 9:30~12:00	遺言と相続～備えあれば…!?～ 【志津公民館 大集会室】	千葉県金融広報委員会 金融広報アドバイザー-齋藤 喜代美
16	12月12日(木) 9:30~12:00	交通・生活安全の知識と啓発 【志津公民館 大集会室】	佐倉警察署 交通課・生活安全課担当職員
17	1月 9日(木) 9:30~12:00	災害に備えて 【志津公民館 大集会室】	佐倉市役所防災防犯課 防災担当職員
18	1月23日(木) 9:30~12:00	話し合い学習 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
19	2月13日(木) 9:30~12:00	発表に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
20	2月22日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「おやじの食事学」コース

回	月日(曜日)	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	6月8日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「認知症ゼロをめざして 正しい知識と対応」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	順天堂大学大学院 認知症診断・予防・治療学講座 本井 ゆみ子
2	6月15日(土) 9:30~15:00	料理を始める前に… (講義・実習・話し合い) 【志津公民館 調理室 中集会室】	栄養士 六崎 美知代
3	6月22日(土) 9:30~15:00	肉じゃがで学ぶ料理の基礎 (実習・話し合い) 【志津公民館 調理室 中集会室】	栄養士 小林 由喜子
4	7月6日(土) 9:30~15:00	魚のおろし方教えます! (実習・話し合い) 【志津公民館 調理室 中集会室】	調理師 佐久間 由則
5	7月27日(土) 9:30~13:30	ダシを取って、おいしい和食を (実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
6	8月24日(土) 10:00~12:00	合同講演会 佐倉・400年記念リレー講座 「時代小説に描かれた佐倉」～野村胡堂・町人十萬石～ 【志津コミュニティセンター 大ホール】	作家 高比良 直美
7	8月31日(土) 9:30~13:30	デザート付のお手軽メニュー (実習) 【志津公民館 調理室】	料理研究家 安部井 幸江
8	9月14日(土) 9:30~13:30	先輩から伝授、手打ちうどん (実習) 【志津公民館 調理室】	おやじの食事学同好会 奥平 英明
9	9月21日(土) 13:30~15:40	男女共同参画合同講演会 今でしょ! 地域で子育て応援隊 【志津コミュニティセンター 大ホール】	NPO 法人ファザーリング・ジャパン 理事 村上 誠
10	9月28日(土) 9:30~13:30	毎日の健康メニュー (講義・実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
11	10月12日(土) 9:30~13:30	楽しく作ろう! 中華料理 (実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 矢口 孝
12	10月19日(土) 9:30~13:30	第40回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
13	10月26日(土) 9:30~13:30	簡単に作れる美味しいパスタ 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
14	11月9日(土) 9:30~13:30	おやじ特製! オムライス (実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
15	11月23日(土) 9:30~13:30	こだわって、洋食を作ってみよう (実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 矢口 孝
16	12月14日(土) 9:30~13:30	リクエストメニューは、何? (実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
17	1月11日(土) 9:30~13:30	発表に向けて・腕前披露会メニュー作成 (話し合い) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
18	1月25日(土) 9:30~13:30	腕前披露会 試作練習会 (実習) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
19	2月8日(土) 9:30~13:30	講師ご招待の腕前披露会 (実習) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
20	2月22日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

⑤ 講座を終えて

「しづ学入門」

しづ学入門では、郷土の歴史や文化について学習することを柱として、講話を中心に史跡散策・見学会と記念講演会・合同講演会の全20回による学習を実施した。受講を重ねる中で郷土愛と多くの仲間の輪を向上することで、事業の視点にある「自主的な学習活動の促進」「生涯学習を進めるまちづくり」において一つの成果を上げることができた。

今年度は、初回の午後の時間に受講生同士の交流の時間を設けた。その時間でクラス全体での自己紹介やクラス委員決め等を行ったが、早い段階で受講生同士の顔と名前を確認することができ、スムーズに講座を進めることができた。受講生のアンケートでは、「志津地区の新たな魅力に気づくことができた。」「現地に行って直に史跡を見ることによって、楽しく学ぶことが出来た」「これを契機に更に自分自身でもっと掘り下げていきたい」「新しい友達とも触れ合う事が出来、今後も親交を深めていきたい」等、満足した意見が多かったが、「クラス全体での交流があまりできなかった」という意見もあった。次年度は講座を進めていくなかで、少しでもクラス全体が交流できる機会を設けていきたい。

今後は、より身近な地域の課題や生涯学習の視点に考慮したカリキュラムの再検討と、受講生の学習修了後における様々な生涯学習活動やまちづくりへの参加・貢献等をより向上するための方策について、運営委員とともに研究し更なる学習成果を目指すことが課題となった。

「地域健康学」

地域健康では、地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学（タオル健康体操やウォーキング等の軽い運動、栄養学や医学的な学習の講義や実技）を通じて地域の連帯を図り、個人から、地域の人へ学習成果を伝えていただくことを目的に実施した。

今年度は、参加者のより充実した交流を図るために、初回と中盤の2回、午後1時から午後3時までの2時間を新たにホームルームの時間として設定し、前年度受講生で結成された「しづ健康24」の体験談を交えた交流の時間も設けた。また、受講生それぞれが、成果を生かして地域で貢献されることを期待して、昨年度に続いて「地域サークルとボランティア」「子どもたちの未来を考えて」のテーマを取り入れた。

その結果、当初から委員長及び班長を決定し、ホームルームについても、各班が順番に受け持つなど、委員長を中心として積極的な交流が図られた。

受講生の感想では、「健康学について多岐にわたり学ぶ事ができた。今後は学んだことを実践していきたい。」「素晴らしい仲間と出会い、交流により絆を深める事ができた」「今後は自分の身近なところから、貴重な情報を伝えていきたい。自分が地域で役に立つことがあれば取り組みたい」など、自己の生活を見直し、地域連帯の意識や地域愛着へ向上が見られる感想が多くあった。

今後、しづ市民大学での出会いや学び合いを契機として、誰もが健康で明るい生活を送り、地域の中で支え合う社会へと繋がっていくことを願う。

「くらしの情報学」

くらしの情報学の開設趣旨は、生活に密着した情報や取組みに加え、心豊かな生活を過ごすための知識を学び、その学んだ知識を地域の人達と共に活用し、安全で快適な地域づくりを目指すことを目的として実施した。地域活性化、時事問題、エコ、相続から防災まで、日々のくらしに密着した幅広い分野に亘る講座を開設した。それぞれのテーマについて、受講生からは、「漠然としていた知識が、専門家の講義を受講したことで、整理ができた」、「新たな知識を得ることができた」、「学んだことをすぐ実行していきたい」等、これからの生活に積極的に取り入れていきたいという感想を多くいただいた。特に受講生の関心が高かったのは、認知症や相続等自分の身にこれから起こるであろう事柄であった。

また、新しい仲間ができたという声を頂いている一方、受講生どうしの交流が十分にできなかったという意見もいただいた。くらしの情報学での講義は座学が多くなっている。今年度は話し合い学習を1コマ増やし、前半1コマ、後半1コマの2コマ行ったが、より受講生の交流が活発におこなわれるようなカリキュラム提供することが課題となった。

クラス委員長の呼びかけで、受講生有志の方々が、10月と1月の2回、志津公民館周辺の清掃活動を行った。クラス委員長は、「ささやかな行動の一步ですが、この運動が少しずつ広がっていくことを願って根気強く続けていきたい」と語っていました。しづ市民大学の受講期間中からこのような活動が行われたことは、受講生の積極的に地域に貢献したいという意欲の表れだと思う。市民大学終了後も受講生が引き続き学習を進めることや、積極的に地域活動に参加していくようサポートしていきたい。

「おやじの食事学」

おやじの食事学は、男性が料理の楽しさを体験しながら家庭で実践できる食事作りを学び、家庭や地域活躍できるようになってもらうことを目的として実施した。

受講生のアンケートでは、「自分で作ったものが本当においしいことに気付いた」と料理を作る喜びを知り、「女房が作ってくださる料理について、食事中、食材や調味料等聞くようになった」と料理の大変さや食事への関心が強くなり、「家内に対して、今迄以上に感謝」「夫婦の話題が増えた」と家族への感謝とコミュニケーションの深まりを自感しています。そして、「料理に対する考え方が変わって来た事と栄養についても考えるようになりました」「楽しく受講が出来た。生活に張りが出てきた」等と、受講をきっかけに、地域で多くの仲間ができ、人生を前向きに過ごす意欲が伺える。受講中に、みんなで考え「おやじのおススメ健康レシピ」を作成し、2月には、「おや食25」のサークルも立ち上げた。公民館で出会い、学び合い、支え合う社会に繋がっていくように今後、期待する。

佐倉学入門講座 「井野長割遺跡」を学ぶ

- ① 開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村のすがたや生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。
- ② 募集対象・募集人数 志津地区の一般成人 30人
- ③ 学習目標 1. 井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区についての知識を深める。
2. 地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月 5日(水) 9:30~12:00	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 松田 富美子
2	2月12日(水) 10:00~12:00	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化課職員 小倉 和重
3	2月19日(水) 10:00~12:00	遺跡探訪し 知識を深める	文化課職員 小倉 和重
4	2月26日(水) 10:00~12:00	遺跡の経緯 今後について	文化課職員 小倉 和重

⑤ 講座を終えて

「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000~3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。

この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って、実施した。

全4回の講座であったが、受講生の出席率が高く、受講後も講師への質問が多かったことから、学習意欲が高いことが伺えた。アンケート結果では、「実際に現地見学ができたので、イメージが大きく広がった。」「井野長割遺跡のことをとても感心高く学ぶことができた」等好評をいただいた。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、質問や意見を交換しあう活発な学習の場となった。そのなかで、

「見学者が増えるため展示物を集めた施設を作れるようになればいい」「整備ボランティアがあれば参加したい」等の意見もあり、地域住民である受講生が後世にどのように引き継いでいくのが課題となった。

佐倉・城下町400年記念事業「佐倉道を歩く」

- ① 開設趣旨 1610年（慶長15）に土井利勝が佐倉城主となり、翌年から鹿嶋山に城を築き、城下町造りを始めた。2010年（平成22）はちょうど400年にあたるため、これを記念して城主の歩いた「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉のことや佐倉道のことを学ぶ機会とする。
- ② 募集対象・募集人数 志津地区の一般成人 20人
- ③ 学習目標 1. 佐倉城主の歩いた「佐倉道」や城下町佐倉への理解を深める。
2. 地域の素材を活用することで、郷土への愛着を持ってもらう。
- ④ プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	10月22日（火） 9：30～15：30	午前に、佐倉道の成立や歴史、地理などを学び、午後に、佐倉道のうち、志津公民館から京成臼井駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 村田 一男
2	10月29日（火） 9：30～15：30	佐倉道のうち、江戸川駅～京成西船駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 蕨 由美
3	11月5日（火） 9：30～15：30	佐倉道のうち、京成西船駅～習志野駅（新京成線）までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 菅野 貞男
4	11月12日（火） 9：00～15：30	佐倉道のうち、習志野駅（新京成線）～志津駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 牧野 光男
5	11月19日（火） 9：30～14：00	佐倉道のうち、京成臼井駅～佐倉城大手門跡までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 畠山 隆

⑤ 講座を終えて

この講座は、佐倉・城下町400年記念事業の一環として、平成22年度から開設している。佐倉道の史跡散策を学習の柱とし、コースの定員を20人として開講した。

初回は、午前中に「佐倉道のあらまし」として佐倉道の全体像等を講義いただき、昼食後、志津公民館から京成臼井駅までのコースを史跡散策した。残りの4回は、上記の表のとおり、現地集合、現地解散とし、史跡散策を行った。講師は、昨年に引き続き、八千代市郷土歴史研究会の会員にお願いしたが、簡潔にまとめた資料とわかりやすく丁寧な解説は、大変好評であった。散策中は交通事故に細心の注意を払いながら進めたが、交通事故もなく全日程を楽しく学習することができた。

今年度は初回に受講生同士の自己紹介の時間を設けることで交流につながり、散策中も受講生同士活発に意見交換をかわしていた。受講した感想は、「佐倉についての理解が深まった」「普段見ることのできない場所へ行き、学習することができた」「次年度も継続して続けてほしい」等の意見をいただいた。今後は、郷土佐倉への愛着や誇りを持ちながら、学んだことを社会や地域づくりに活かすことを望んでいる。

佐倉学入門講座 「地産地消 佐倉コミュニティカフェを学ぼう」

- ① 開設趣旨 高齢者の孤食等の食生活の悪化や、地域住民の交流の減少といった地域課題に対する解決策として、地域の住民が気楽に語り合える場としての「コミュニティカフェ」を学ぶ。また、佐倉の志津地区の家庭菜園等の野菜の活用し、地域活性化を考える。
- なお、講座は講義のほか、グループワーク（話し合い）や調理実習を実施し、受講者自らが考え、体験することにより、学習効果を高められるように配慮する。

② 募集対象・募集人数 志津地区の一般成人 20人

1歳から未就学児を持つ参加者には、保育ボランティアで対応（子ども5人まで）

- ③ 学習目標
1. 地域交流の希薄化といった地域課題の認識を深め、食材は、地域で収穫し、地域で活用して運営する「コミュニティカフェ」を学ぶ。
 2. これからの地域コミュニティについて学習する機会を提供し、コミュニティカフェのあり方について考える。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	会場	講師
1	10月23日(水) 10:00~12:00	地域コミュニティとコミュニティカフェ	住民の抱える食の問題を探りコミュニティカフェの必要性を話し合う	志津公民館 中集会室	加藤富美子 (公認フードコーディネーター)
2	10月30日(水) 9:30~13:00	こんなコミュニティカフェがあったらいいな	コミュニティカフェの軽食を作ってみよう！ 体験学習(調理実習)	志津公民館 調理室	加藤富美子 (公認フードコーディネーター)
3	11月6日(水) 10:00~12:00	これからの地域コミュニティ	コミュニティカフェのあり方について考える	志津公民館 中集会室	加藤富美子 (公認フードコーディネーター)

⑤ 講座を終えて

講座の中で、自分の住んでいる地域の中でコミュニティについての課題をあげてもらい、交流の希薄化や高齢者の抱える孤食の問題など地域課題を学習した。その問題解決策のひとつとして、全国のコミュニティカフェの事例について学び、その必要性を話合った。また、講座生が自ら、コミュニティカフェの軽食を実際に作り、食材は、佐倉の地産地消を意識して、近くの農業を営むおばあちゃんの畑の野菜や弥富地区の米、佐倉の豚肉等を購入し、地域活性化をめざした。

講座修了後のアンケートでは、「人とのふれあい、繋がりを深めたい」「コミュニティカフェの必要性が理解した」「地産地消の大変良いと分かった」等の意見があった。また、引き続き、地域コミュニティについて学習し、コミュニティカフェについて学習するサークル、長いすの会(14人)が結成された。

今後、地域の中で長いすの会が中心となり、地域コミュニティが活性化することを望んでいる。

コミュニティ事業・さくら学び塾(学びあい講座)

「なごやかさんになって、地域を元気にしませんか？人と和やかに接する自分づくり」

- ① 開設趣旨 本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾(学びあい講座)」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。
多様な世代が関わり合う地域社会において、人間性豊かな生活を営むために、コミュニケーション能力、自己肯定感等を学習する機会とする。

② 募集対象・募集人数 一般成人20人

- ③ 学習目標 人と和やかに接する自分づくりを学び、好感をもたれる人になることを学習し地域を元気にする。

④ プログラム

	月 日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	講 師
1	11月21日 (木) 10:00~12:00	人と接する大切さと 楽しさを知ろう	○ゲームと事例で学ぶ ○コミュニケーションの基本 ○和やかな人の特徴を知ろう	広田 稔
2	12月5日 (木) 10:00~12:00	相手との関係を意識 しよう	○自分を知る自分の性格をチェッ クシートで調べる ○私は、どんな人？ ○相手を知る→相手の気持ち、感 情に気づく方法	広田 稔
3	12月19日 (木) 10:00~12:00	好感をもたれる自分 に変わろう	○自分を変えよう→自己中心の考 えをやめよう ○当たり前なんてない、感謝の心 ○行動を変えよう→目つき・態 度・言葉・聞き上手、良くないコ トバを使わない方法	広田 稔

⑤ 講座を終えて

人と和やかに接する大切さと楽しさを知り、自分づくりを学び、相手との関係を意識し好感をもたれる人になることをパワーポイントや発表を通して、学習した。

受講生のアンケートから、「自己の性格を再確認しましたので、自己改革を図っていきたいと思う。己を知るために大変参考になった」「科学的立場から人間の研究の仕方を学んだ」「心理的なもので難しいと思ったが、行動により変えられることが学べてよかった」「大変参考になった」などの満足した感想が多かった。その一方で「3回の講座では、少ない」「今後さらに学習したい」等、学習意欲がある意見があった。

今後、地域の中で、なごやかさんがたくさん増え、地域が明るく、元気になることを望んでいる。

4. 団体育成事業

第40回 志津公民館祭

- ① 開設趣旨 志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかる。
- ② 募集対象・募集人数 志津公民館利用団体及び近隣住民
- ③ 学習目標 開設趣旨と同じ
- ④ プログラム

開催日時 平成25年10月18日(金)～20日(日) 10時～16時(最終日は10時～15時)

会場 (第1会場) 志津公民館・(第2会場) 西志津ふれあいセンター

- ⑤ 公民館祭を終えて

志津公民館祭は、志津公民館で活動するサークルや団体が一堂に会し、作品展示・公演・作品販売など、日頃の学習成果を発表することと、団体間の交流、地域との交流を図ることを目的として開催した。開館翌年の昭和49年から毎年欠かさず開催され今年度で40回を迎える伝統ある行事である。運営は参加団体の代表者で構成された実行委員会を組織して、手作りで運営している。

今年度は第40回を記念して、オープニングセレモニーが市長を初めとする来賓や多くの団体の参加のもと盛大に行われた。また、第1回から第40回までの志津公民館祭の軌跡を記録した「志津公民館祭のあゆみ(第40回志津公民館祭写真集DVD付)」を作成した。

今年度は、約20団体が新たに参加し、120団体の参加で行われた。「全サークルが参加できるように環境を整えた協力体制を図る。」という公民館祭開催方針の基に、実行委員会役員は志津公民館を利用している全ての団体の参加を目指して積極的に参加を呼び掛けた。役員の積極的な呼び掛けの成果もあり、ここ数年参加団体数は増加してきている。参加団体の増加に伴い、発表時間や展示場所の配分について心配されたが、参加団体が協力し、新たに参加した団体も含めて全ての参加団体が発表・展示を行うことができた。

近年、高齢化に伴い、活動を縮小していく団体もあるが、毎年市民大学修了生によりサークルが結成されている。また、20代30代の女性達がサークルを結成している。このような結成間もないサークルにとっては、志津公民館祭は、他の団体や地域住民と交流する機会となっており、地域住民の貴重な交流の場として、地域の活性化に寄与している。

今後、「志津公民館祭」の開催趣旨に基づき、生涯学習を推進する中で、祭典の歴史を踏まえ歴史を重ねながら展開し、志津公民館と活動団体の協働により地域社会の活性化を目指し、継続的に実施することを願う。

サークル運営研修会

- ① 開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。
- ② 募集対象・募集人数 志津公民館利用グループ・団体の代表者
- ③ 学習目標 開設趣旨と同じ
- ④ 学習内容
 - ・公民館でのサークル活動とは
 - ・公民館の予約・使用について
 - ・参加者による意見交換
 - ・第40回志津公民館祭について

- ・火災を想定した避難訓練

⑤ 今後に向けて

各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し、実施した。

公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに即した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

調理室利用者懇談会

- ① 開設趣旨 調理室を定期利用している「グループ」・「サークル」を対象に、サークル団体の交流・共通理解を求め、調理室の効率的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を図る。
- ② 募集対象・募集人数 定期利用している料理グループ
- ③ 学習目標 開設趣旨と同じ
- ④ プログラム ・調理室の利用説明と要望・意見交換
・調理室の清掃（調理器具の点検）
- ⑤ 今後に向けて

調理室の特性として衛生管理が最も重要であり、利用者相互の理解と協力により適切な施設運営が可能となることから、利用グループとの連絡調整を迅速かつ継続的に行うとともに、調理実習等としてグループ活動の場を共有する上での意識の向上を図ることが大切と考える。

*調理備品・器具の点検 *グループ備品の整理整頓 *生ゴミ・廃油等の処理の徹底

志津地区の子ども会育成活動

- 概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- 加入団体 単位子ども会 14 団体
- 活動内容 ・千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介（3月）
・千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付
・活動支援相談・連絡調整

志津ジュニア・リーダーズ・クラブ（志津JLC）

- 概要 志津ジュニアリーダーズクラブは、主にジュニアリーダーの育成を目的として、志津地区を中心に活動している。志津地区子ども会連絡協議会や単位子ども会の活動における主要な協力団体であり、志津公民館ではその活動を支援している。
- 主な活動 ・単位子ども会への協力・行事支援
・志津公民館祭参加（10月）
・ジュニアリーダー初級認定講習会（主催 佐倉市教育委員会）への指導・運営協力（7月）
・佐倉市子連主催「子ども会中央交流フェスティバル」への運営協力（10月）
・志津JLCクリスマス会（志津公民館共催）企画・運営（11月）

5. 広報・展示事業

志津公民館だより

- ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- 発行回数 年 3 回（ 5 月・10 月・1 月 ）
- 発行部数 毎号 25,000 部
- 配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架
- 内 容

第 2 2 6 号 (平成 2 5 年 5 月 1 日)	第 2 2 7 号 (平成 2 5 年 1 0 月 1 日)	第 2 2 8 号 (平成 2 6 年 1 月 1 5 日)
<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） お母さんと遊ぼう しづ市民大学 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然観察 子ども理科実験教室 ●募集案内 中高ちょこボラ ●募集案内（共催事業） 文章講座 	<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） 佐倉学入門講座「地産地消 佐倉コミュニティカフェを学ぼう」 佐倉学講座「佐倉道を歩く」 しづ市民大学公開講座 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然観察 子ども理科実験教室 笑顔で子育て応援講座 ●募集案内 中高ちょこボラ ●募集案内（共催事業） 志津JLCクリスマス会 文章講座 ●行事案内 第 4 0 回志津公民館祭 	<ul style="list-style-type: none"> ●佐倉市表彰受賞・佐倉市教育功労者表彰受賞のお祝い ●募集案内（主催事業） 「井野長割遺跡」を学ぶ 笑顔で子育て応援講座 地産地消佐倉コミュニティカフェを学ぼう ●募集案内 活動サークル紹介 ●利用申込みの手続き ●志津公民館利用案内

○今後に向けて

今年度は、例年どおり 3 回（5、10、1 月）「公民館だより」を発行した。紙面に限りがあるため、毎年主催事業の募集記事やイベントの様子の紹介等が主な内容になっている。

主催講座の案内では、「お母さんと遊ぼう」と「佐倉っ子塾」の記事について紙面の見直しを行い、情報が分かりやすく伝わるよう工夫した。

また、「公民館だより」の配布先についても見直しを行い、今年度は志津地区での新聞折込みや市内の各公民館、志津地区の公共施設へ配架のほか、志津地区の子ども会へ送付し、より多くの方に見ていただけるよう、配慮した。

今後は、さらに紙面等を工夫して公民館の活動を地域住民へ発信し、地域の多くの人々が「公民館だより」が志津公民館を利用できるよう、努力していきたい。

6. 図書事業

図書等の貸し出し

- 内 容 図書資料やビデオなどの貸出事業を行う。
- 蔵 書 数 300 冊
- 実施期間 通年（公民館開館時間）
- 貸出方法 1 人 5 冊
- 貸出期間 2 週間
- 年間貸出数 一般 42 点
児童 0 点
DVD 3 点
計 45 点（内、視聴覚資料 3 点）